仙潜
をぐさ記聞

## い

いみへ　二字古上古古今集皆二句乃内く昔く面と如く
古池古人古歌古筆等乃載いみへを上古
大古ゑも二字乃内く昔く面と如く
昔ゑ二字乃内く昔く面と如く

庵　二字所一人
二人住いおり
三人住いおり
[illegible]

池　二字所一人
乃あるに
[illegible]

磯　二字所一人
[illegible]

命　一命以武其拙所好く出乃命ゑ
[illegible]

命ハ西暦く命以
[illegible]

稲　一字ぬいなびかるまつまわく稲三乃外ゑり
[illegible]

[illegible]
稲ゑ和布一付白蛇いなびかるせる秋ゑり稲三乃内ゑり
一字所也いせ乃社いせ乃郡　埴も同和く天照郡　[illegible]

伊勢乃神

いせ　一いせ地名
いせの寺
[illegible]

いせ様　等乃
内ゑいせ一ゑり

いつゑ乃　京　所の美ゑ
[illegible]

岩　一巻一加ん
一字二出て

巖ガ[illegible]ニ[illegible]巖ト
ニハ[illegible]ノ[illegible]ベ[illegible]ク[illegible]次

石 ニ石ヲ毎ニ石ヲ敷ク矢石屏 磯石ヲ敷ク所ノ名ニ乃チ石ノ名ニ乃チ石ノ名ニ乃チ石ノ名ニ乃チ

岩 ニ乃チ岩面ヲ石ヲ敷ク所ノ名ニ乃チ

岩ノ上ニ

岩ノ上ニ乃チ岩ノ上ニ乃チ

岩ノ上ニ乃チ

岩ノ上ニ乃チ

ちひろんぐのイキニ
きもも二百去ク　生死命　二百去いろるこ　いろるよ
うまうくく　ものしる　ものしる　ものしる　ものしる
二百去ク　稲妻（イナヅマ）　一秋ク　飛ク　飛ク　飛ク　飛ク　飛ク　飛ク　飛ク　飛ク
八非　飛ク　非　稲妻ニ秋ク　いなびかり　雷　いなびかり　いなびかり　いなびかり
いなびかり　いなびかり　いなびかり

一金義一陳一撥ハ[illegible]ハ軍ニ[illegible]破軍
星ノ名ニ今一金義ニ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ

六尺 人体の長さ 六親 父母

六字名号 尺長のあり 六親 父母

六親 父母

六尺 人体の長さ

六字名号 尺長のあり

六親 父母

試

樋 二秋と上と 下は白かへし

青々 西とき〜色

論義 一あるそれ二白云論議 論乃字又ゆるへ

樋 二秋と上と 下は白かへし

青々 西とき〜色

論義 一あるそれ二白云論議

論乃字又ゆるへ

青風 二 時宜と教ゆるへ

青雲 二 青雨 一さめ乃字 一つ也

青雨 一さめ乃字 一つ也

青月 三ゆりの字

一あるは一三ヶ月一成月一成月 一季五白云

青と青 四白云

青と青 四白云

花 四

花の梯 七白云人体 花紅葉 正義之植 花の雫 正義之 花の雲 正義之 花の月 正義之

花の梯 七白云人体 花紅葉 正義之植 花の雫 正義之 花の雲 正義之 花の月 正義之

花の月と 一白云花の名 芸術 橋 橋人体 橋姫 橋姫之娘 二乃也

花の月と 一白云花の名 芸術 橋 橋人体 橋姫 橋姫之娘 二乃也

花ハ 春白脇句 花もとゝ 春 花 春 花ハ 二白 橋ハ

花ハ 春白脇句 花もとゝ 春 花 春 花ハ 二白 橋ハ

花乃春 花乃春 花乃雪 花乃月

花乃春 花乃春 花乃雪 花乃月

花代物ぐさの

華 新之字花之枝物又二句共

花やう 花の字之枝物又二句共

花乃都 正花之枝也人物名花鳥中

花乃衣 正花之枝物又二句共

花乃姿 正花之枝也人物名花鳥之名花鳥の字花鳥の字花鳥

花乃友 むとも 枝人物

花と友 むとも 枝人物

花の宿 花の陰 居所之

花乃

花衣 花の枝花の袖正花之枝物又二句共花也

雲 正花之枝物又二句共

花と宿 むと 枝人物

花畠 正花之枝物又二句共 花壇八秋之

花代ちとう 正花之枝物又二句共

花乃帽子 尺義之名花之枝物又二句共

枝物花の字よ

三句共

花籠 正花之枝物又二句共

尺義之長屋格奇 枝物又二句共

花

皿 尺義之枝不可付

花野 枝正花秋之 義也 新山

花蘭 正花之枝物又三句共 字治乃花字之枝物

花軍 正花之枝物又三句共

花菖蒲 名所不可付 八正花之枝物

花雲院 枝正花之枝物

花車 正花之枝物

花山

花代香 植物 枝也 名所也枝正花 神乃歌人名 面と略

花乃春日 人物名

花ひら 尺義正花之新 枝植物花ひら 花乃えくぼの名ひら之 正花之

花乃吉

野 名人名 花乃えくぼ 花乃えくぼ 花乃えくぼ 花乃えくぼ 花乃えくぼ

花乃吉 正花之新 人物名

花乃吉 狂言 正花之新 人物名

花田 花田乃音 餅花 むすび

花紙 くす紙

花大根 花壺 むすび

つみ 花丁み 菓子むすび

花代 焼乃花

花火 花うすや 作り花

絵ゑみ むすびら 花あら

花と物 むすび

四季花と物 紅乃花

花乃葉 花乃緑

花の葉 花無

葉と結ハ 花

畑 畑田 畑ハ畑田二名 畑ハ畑田二名 畑ハ畑田二名 畑ハ畑田二名

葉 葉

葉乃音 葉乃音 葉乃音 葉乃音

葉と紅 葉と紅

葉 葉

葉と紅

橋 一名不一林一陸橋一沖階一うたかた
[illegible]橋切り通天橋ホ今一橋ホ陸七句ホ

菓 [illegible]

芭蕉 一葵者ホ 以上二句

初堀 秋

端山 [illegible]

[illegible]

瑞井 井原ホ 二句ホ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

初 三句ホ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

初霜 冬之部 てハ秋之

蜻蛉 一名あきつ 一名かぎろ 一名目合草貝

幕 一名ことさ草 一名ゆ草

秤 一名秤 一名秤 一名はかり

皇 一名乃ゝ乃ゝ乃ゝ

桂ノ内三

孤 二孤 辱

春雨 一えるの あめ

原よ かこい 仕てゐる者

竹 あさ うら

葉 一葉之 業 業稚

守乃神 れん 拵物 よきこと

拂乃宝 四 離乃宝 羽の字

三ヶ島ものかたり

ら

三白星と書 只星也

麻よ 麻裁はぬ乃内 麻市 場 麻ぬ 麻糸

麻ぬ 麻糸 麻ぬ 麻糸 麻ぬ 麻糸 麻ぬ 麻糸

麻乃場 麻ぬ 場



字 字二白書 字 字二白書 字 字二白書 字 字二白書

同麻 麻ぬ 麻ぬ 麻ぬ 麻ぬ

麻よ 麻ぬ 麻ぬ 麻ぬ 麻ぬ

よとあり　きゝくこゝろ事　よ面りよ　こゝろ合の
一句ふこゝろ　りふ苦

新枕　ゆさりひ　ゆさやう　ゆさびん

ゆく　雑人　西　さい一京　白　ゆ事ゆこゝ　ゆりひ
句ゆ同ふ　ゆ事ゆ面　ゆよあくゆ

人間　人の字二ゆ云　ゆ一ゆ　荷　ゆ事ゆ
人倫ゆ世ゆ　ゆくき一　ゆ事ゆ

人道　人ゆ義　人倫ゆ非　ゆく学　ゆ事ゆ一　俄八　人形
ゆ事ゆ　本儀所ゆ云ゆ　人ゆ形ゆ二ゆ

煮ゆる奥　ゆ事ゆ　ゆ一ゆ　蔕　ゆ事ゆ　丹　ゆ事ゆ　新
ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ

新一　無似乳　ゆ事
三句

牡丹　一説ゆ云ゆ　ゆ事ゆ　蓋菜　ゆ事ゆ　佛別　ゆ事
ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ

郭公　一説ゆ云ゆ　ゆ事ゆ　蛍　ゆ事ゆ
ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ

かそけ江　ゆ所ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ

どゝの不　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　星と月　ゆ事ゆ　星合　ゆ事ゆ
ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ

星月夜　秋ゆ月ゆ字ゆ三句ゆ　ゆ所ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ

かりく　一ゆの句ゆ二ゆ　ゆ事ゆ　外　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ
ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ

句作ゆ　弧　一ゆ一ゆ一ゆ　ゆ事ゆ　湖　ゆ事ゆ　帆　ゆ事ゆ
ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ

ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ　ゆ事ゆ

かりね 三月九日 星 一七夕甲乃星見れ初り今一星靈ゆあたらしき 布袋 一乗義人倫よあり 布袋衣二月九日あり

法眼 人義くまのこ 行ケもう者 法論味噌 二月 義よ 弥 一ゆかり のこり

かりく 一 一ゑん者 燈 一衣 かゆる 一生 形 みてらう 義 干 二ひる 二 かんも

四月九日 二九 無う人知ニ非 帽子 ものゝ西と極 多ゆ一 ゆ路 かり 丸これいゆと ゆうひのまく 強靱 一尺 義

法華 入 表 禮乃字 三月 ゑ 俵競 おごるれと きゝ多く 来ことよん 三月 ゑ

かひ 一袋 表一 拂子 かろ 一冊と衣 ゆ路 穂 ゆうくゆ 法華経 ゆうてゑ

題 四一 胷 生義ゆ二月九日 義ゆ 奏起 義月と九ゆ二 陪堂 尺 義 細 三名 ゆ

ゆ月九日 三月 頬 一九ゆ ゆ ゆ 西と極 求乃 乃ゆ 西と極 金 一尺義 ゆ 一飛人 倫よ

ゆ月九日 ゆ 西と極 見ん 俵 ゆ 西と極 墨跡 一ゆ ゆ 政 ゆ 月九 ゆ 月九 ゆ 月九

一ぬき
そそ〳〵
へぐり 一うんなる一物と
へぐり面と姿あり
は
ぐ 衣類をふる抜去
ぬぐ 三百去
返事 一色三二色参ら人と
三百去百八二百去
脇 一条の人をうべ
うまの名ら一
舞戈天 ア部之天人ゑと姿ハ
天使ハ八二百去
虎 一寅一ハ分ま
虎の字ま
床 一敷分之者
ま一敷ま
玉床下 おく・ゑれと去ま
ま乗ま百去ら
床とゆうハ 病人ハ床つめ乃痛ハ 居所ま二百去 床ま
ありを
ゆうハ
あ敷ら
二百去ら
代床 ゑ敷ら
正所ま
網代床 小返ら敷ら
ま敷ま
床
乃山床ハ浦 床の字ら
面と姿
さら火 一敷の所一結一さら一
燭ま
火百去のくら
灯

ま敷本短敷本面と姿ら
姿ら
ま百去 ま百去 村
百乃乃ま百姿ハ
百八百去
百戸 ま百去
戸 ま百去
戸ハハ姿ハ千戸乃戸民敷ら
戸五ら戸ら戸ま
百ハ百 ま百ハ百
百ハ百 ま百
百ハ百 ま百
百ハ百 ま

[illegible]
[illegible]
非[illegible]
仰[illegible]

鳥屋 [illegible]
初[illegible]
豊明節会
[illegible]
字 [illegible]
年 [illegible]
年暮し
四
[illegible]
[illegible]
[illegible]

二百 同志 人偏よあつまる 同志の人偏

宿直 一夜ろ 宿直

外湯 一夜ろよ 外湯

殿 一夜人偏殿 殿

焼尤 一灯 焼尤

陵 一所へ 陵

とくさ 一ときこそく 一賊の字分て三百

花代字 ものよ一出 花代字

碧乃字 碧乃字 毎て三百

どろ 一体人偏 どろ

襟 一天衣 襟

面 一体人偏 面

玉陵 玉陵

陵 五所へ 陵

所字 所字八 所字

みさと 月 みさと



とく 人偏 とく

取乃字 取乃字

同じ字 同じ字

ち

塵 ちりの塵

千切字 千切字

千鳥 千鳥

千早振 千早振

千里 千里

千 千

種 種

粽 粽

踏 踏

濱 濱

雲霧 雲霧

道 道

菊代字 菊代字

菊 菊

## 九字

四新賞八秋人　千キル
茅　九編　竟

契　多
知　千井
音　一ヨウ

白仲とりて見ること
報マコト　八ふ巻

兒　一ヒ
嬰　ヨウ

児孫　子ヨ

白仲ことりて意ようあり

茶　茶際ホウ

内ニ業像業発ハ
ある人ハ　千

ひき菓　我ハ菓

菓乃ちハ　子

滝　千ヨウ
なくん

長者　人倫　千ヨウ
あり

地藏　尺義ことさら八ハ
始ってハ　千ヨウ

ちぎり

ちゝ御来　二百去ることれ
白ハ　八百

ちぎり　二百

血　千ケ
り　一

賃　千

千　千
多　水ヨウ
去ヨウ

千　千
話　一ヨウ
也

畜生　千ヨウ
去ヨウ

菩　千
薩　去ヨウ

八　千
去　尺義
あり

地獄　尺義
屋寄付

乳　千
幕　一
のち

丁　千ヨウ
丁ヨウ

丁　一灯の
丁ヨウ

亭　千
乗所
あり

池　千

超　一ヨウ
りを始

ちゝさ　一ちゝ
ちゝ

ちゝさ　一ちゝ
ちゝ

久　千
て　小二百ちゝ

地震　一ヨウ
ヨウ

つちゝ　鉄ハ面を
ハ面を　ヨウ

教使　千ヨウ
人倫

三　千ヨウ

地　千ヨウ
人倫　千ヨウ

中風　千ヨウ
風ヨウ　二百去

み　千ヨウ
ヨウ　千ヨウ

遠　千ヨウ

り

つと　二百去
ヨウ　二百去

長老　尺義
人倫

龍神　水ヨウ
去ヨウ

猫　一尺
秀

弦　一ヨウ
帝　千ヨウ

つちん　一ヨウ
ヨウ

き　一ヨウ
ヨウ

両　一ヨウ
四　ヨウ

利　一ヨウ

倫　一ヨウ
ヨウ

利　一ヨウ
ヨウ

利根　一ヨウ
ヨウ

利口　一ヨウ
ヨウ

傑　一ヨウ
ヨウ

ちゝ　一ヨウ
ヨウ

ちゝん　一ヨウ
ヨウ

秋人　一ヨウ
ヨウ

秋人　一ヨウ
ヨウ

弦　一ヨウ
ヨウ

弦　一ヨウ
ヨウ

ぬ

ぬくぬ　ぬくぬ　ぬくぬ　ぬくぬ　ぬくぬ　ぬくぬ　ぬくぬ　ぬくぬ　ぬくぬ　ぬく

愚 二百六十一人代 必字も三内 小野 三内より

をちこち 白てちんさん をち をちこちんとうこちう

をとこさく 三百三十五人と いひても同じ をきよ 二百三十 音羽 後乃

付るも をとづき 音二百三十五ひ文字 地乃ね ハさてうかと 音羽 青の 弄名和

ねんに付る 生様 まてよおくれて咲 小忘衣 非紙之名 大忘衣同じ 小弟

と姫や 小田人後 田と紙 雑 小とか 二百三十五小とこい

付ると をーぬ 秋 地 ちとやうき 多のをうこ文 桂乃ねけうとも 親よ子

二百三十六行の子ち 歎乃あ八さてうかと 親子 述懐 親と子 述懐 却乃

歎乃あ八さてうかと 親子 述懐 親と子 述懐 却乃

配鳥 冬 ちと花で八三百三十六冷 愚屋敷 居所 名一人 傷

乃ま八乃 ひとひて八紋 愚屋敷 居所 名一人 傷

りうん とのづら 二百三十七りうん 二百三十七 瘡 一人傷 ま

紙 おこかひ 二百三十八 行おとき 二百三十八 おこかひ 三百

織 とり 文て 二百三十九 亜乃字 乙女 一天使 乙女一

父行 二百三十 小野 小町 二百三十一 警 警 とうぶ 二百三十二 丁角

送家 やう人て六 手乃ろ巳 とどろ 二百三十三 殖 とれ

犯一とり　伯父伯母　人偏に千と百と　人偏に千と百と面と姿　わ　別

釈　一人偏に赤と一　生れ　人偏に和乃と

わ

和菜　一葉一さい一葉搗菜　皆さい菜　別　三さい　人偏に和

人偏に和乃　別　市　無とりて　新城　無れ　別

人偏に千と百　別　別　別

四あやくみやくみ
とく敷ようあるも

**笄** 三百五 **笄葉** 本ハ笄ノ **分代宮** 三百

**笄元笄浪家** 人倫 **椀** 一五 **まろまる** 丸ク丸ク **脇指** 脇ニ付ケテ

太刀如
ハ一姫

**結ち眼** 人倫 **鬣ぐち** 尺義ニ生レ
ようりくと

**移徒** 宮人
二百三

家ようりん
ハと略也

**蔵** 二まろ ハ二ハ
俳是ハ鄙ノ能技抱

**詰** 白ようて尺義ニ表ハ
を始ル 詰セ百ようりう

**和歌** 一和金 ハ二百
ようやくとく

**王** 一みとをろうれハと始
望仕ル金一ハ

**まきの家**

二糸ハ
ハ百三

**カフ**

**まげうニ** 諺よ
仕事 糸書
二百ようり

**武い** 食家ハ
ハ二百三

**枯ようり** 一ようを
ようよもとりくと

**紙よ**



五百ようや

**唱食** 人倫 尺義ニ

**隠家** 一屋所 二百家七百ようり家ハ
家ハ面ハ隠居隠者ハ居懐

ハ世ようよ

**隠し字** 抜ケて
ハ斗ようる

**葛城** 山名
ハ

**屋** 三りん一ようる扶よ
ハ上四丁

ハ居ようり紙ハ抜ハ
ようりもつあり

**塔** 尺義ニ丁四
ハ新ニ

**垣** 三ハ新面と始
廃ハ三百ようる

ようよ同ハ苗代田畠ハ乃垣ハ居所ハ二百ようる垣ようる
面と姫新七百ようる垣新ようるしい二百ようり用ようる

**糸** 糸代反
糸ちん

一糸ようりようる七百ようる
糸ようりようる糸二百ようる

**かくしびてとい** 古宅名所 ハ小路ハ
ハさびしくふるとい小路ハ糸

乃字ハてようりようりようるさびて反ハ
ハ字ハようるハ糸四ハ

**狩** 高狩ハ
ハ狩ハ

上品狩一反狩ハ雑ようる狩ハ
ようる

**狩よ** 採ようり
ハ採ようり二百ようる採ハ葉ようる
ようる反面と姫狩ようり採ようるあいけてようる

鶴二入相一ニ成ル鶴一ニ成ル乃数
以上四ツ鶴ハ秋分ヤ

名鶴ヘ尺素
鶴乃数

鶴霞 鶴霞ス時ハ
鶴ヨ

耳ヲ覆ヒ面ヲ蔽ヒ袖乃ヲ四ツ
付テモ音聞ヒ少ヒ行ウ大二加ヒ皆二百ウ

鶴ヨ

鶴ヨ

鶴ヨ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雨付て　備　三ちゃくといひても三ぜんの宿
うらをそうりそめとそてハ備ハ二百文　卵　一ちゃくハ
うんの長さ二　かさて
ちゃ乃橋　ねはしの長　紙ゆり　髮　とかす　眉の霜付ても　風　一切ぜん
ふうきゆ　紙くず　ちゃ　かんぢ　かさ　二百文
二百文　松の葉　ちゃ　数ぜん　数ぜん　かんぢ　かさ　二百文
うちくもの　ねぶくろ　二百ぜん　方　片付白絹　体白絹　二百
文　一片の絹片付の
百数乃　数ぜん　片文　毛ハ　ちゃ　ちゃ　ちゃ　ちゃ　ちゃ
本ハ片数　ちゃ　ちゃ　ちゃ　ちゃ　ちゃ

[illegible]不ノ[illegible]
二百去 傾寢美 [illegible] 甲一 甲貝一 [illegible]内甲 [illegible]内之 [illegible] 纂言
[illegible]一 二百[illegible] [illegible]
一[illegible]終宋二百[illegible] 鏡一 [illegible] 歌[illegible]
[illegible]五百[illegible] [illegible]
[illegible]冠木門い[illegible]別 [illegible] 人偏 [illegible]
[illegible]ノ[illegible] 歌仙 人偏 [illegible]
[illegible]ノ[illegible] [illegible]
[illegible]ノ[illegible] 月代新[illegible]義[illegible]
但好[illegible]人きろ かんめり 繁強盛海賊
笠強征扣い[illegible]人偏く 四傾城 輪 [illegible]
[illegible]ハ[illegible]く [illegible]
[illegible]干 [illegible] 見 [illegible]竹 [illegible]さ [illegible]暮
[illegible]歩 [illegible] 刺刀 [illegible]番 [illegible]
[illegible]ノ[illegible] [illegible]勝 [illegible] かち

栗 [illegible] 俗老同定 [illegible]行 [illegible] 桂 [illegible]
月代[illegible] [illegible]
一[illegible]所一 かじら 鮫 [illegible] 鮭 [illegible] [illegible]
[illegible] 墓服一 [illegible] ひや
[illegible]人偏 [illegible] 柔 [illegible] 一人偏 [illegible] 鳥 [illegible] [illegible]
[illegible]人偏 [illegible] 宝 [illegible] 搖得 尺[illegible]
[illegible]人偏 [illegible] 籠 [illegible] 鴨 [illegible]
かぞいろ 人偏 [illegible] 廉 [illegible] 一[illegible] 小神 かめ 一瓶 [illegible] 褐 [illegible] 一[illegible]
七[illegible] かとり 三[illegible]去 二百去 かく[illegible]
[illegible]ひくさ 二百[illegible] かく[illegible]さ 肩 [illegible]
七百去 看經 [illegible] 勅 [illegible]

て勅撰をあらはす　かうめ　一名よしあし　ちくしの内　ひこ　地名改　蠹

ヒキ　非公教　カヘル　名和名　竈　一名ひまつり　全に獲ずれば　昔一芸成　加牟

一名あらまし　かげ　ようこう　ようこう　雑　鬼　一名せうれい不可方　ようこう

書　二　ちよ　弁　ゴロ　亀　ちも　貝　一名一貝　ひらて五　羊わる

かうこう　くらこ　名と　名五白　蛙　ハ　腹　カイ　皮　四　草　二　加人

又　人二白　ちこ　猟　作　と　ヨ　ハ　蔓　一　ちこ　ちこ　義　ちこ　ハ　旅　ヨ　統　統云

人　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ

三白　替　代　字　ハ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ

[illegible]人 [illegible]人種西懐 [illegible]年代字に[illegible]年字
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]乃字 三百 [illegible] 撥四 嫁一 [illegible] 人 [illegible] 二百所 長竹 二百

[illegible] 一八 [illegible] 一冥途 [illegible] 釈 [illegible] 宅里 [illegible] 洗 [illegible] 舟 [illegible]

流星 [illegible] 釈尽 [illegible] 月月八二百 [illegible] 日 [illegible] 八不 [illegible] 方

二百 [illegible] 寄乃字 三百 [illegible] 讀乃字 [illegible] 二百 峰

乃字 三

大

狩用 [illegible] 橋 [illegible] 橋氏 [illegible]

[illegible] 久 [illegible] 家 [illegible] 乃 [illegible]

[illegible] 乃字 [illegible] 面 [illegible] 面 [illegible]

[illegible] 乃字 [illegible] 玉乃 [illegible] 二百 [illegible] 玉乃 [illegible] 二百 [illegible]

[illegible] 玉 [illegible] 弦 [illegible] 命 [illegible] 字 [illegible] 命 [illegible]

[illegible] 二百 [illegible] 滝 [illegible] 曝布

[illegible] 滝 [illegible] 川 [illegible] 川 [illegible] 滝 [illegible] 玉 [illegible] 二百

[illegible] 玉 [illegible] 弦 [illegible] 命 [illegible] 面 [illegible] 廣義乃玉

[illegible] 弦 [illegible] 乃 [illegible] 命 [illegible]

[illegible] 玉 [illegible] やうく [illegible]

なりて五百文にて買ハ孫五郎二百五十文ほどの人徳 田乃虎 虎竹ニ二百文程と云ハ二百文門田ハ虎竹ニ三百文

田ノ子 稲ハ子ひこばえし そうり 庭ニ一金ニ五百 拾ニ八枝程ある 田ノ

うつあせ黄代そうげ 田ノ子 ものハ 田ノ虎不 早苗 術皇二百文 絹 田ノ子 田ノ虎 田ノ虎 田ノ虎 田ノ虎 田ノ虎

田ノ子 五百文 龍田ノ子 三百文

竹 五百文 竹ハ二百文 竹 ちくちく 竹ハ五百文 竹ハ五百文

竹ノ子 竹ハ紙ハ二百文 竹ノ子 竹ハ五百文 竹ノ子 竹ハ五百文

竹ノ林 竹林 竹ノ子 竹ハ紙ハ二百文 竹ノ子 竹ハ五百文 竹ノ子 竹ハ五百文

竹ノ垣 竹ノ垣 竹田里 竹ハ一等竹 竹ノ黄

竹ハ柳ハ竹ハ竹ハ五百文 そうり

竹ハ紙ハ竹ハ五百文 竹ハ紙ハ二百文 竹ハ紙ハ二百文 竹ハ紙ハ二百文

竹ハ紙ハ二百文 竹ハ紙ハ二百文 竹ハ紙ハ二百文 竹ハ紙ハ二百文

松虫 松虫 松虫 松虫 松虫 松虫 松虫 松虫

松ハ紙ハ二百文 松ハ紙ハ二百文 松ハ紙ハ二百文 松ハ紙ハ二百文

松ハ紙ハ二百文 松ハ紙ハ二百文 松ハ紙ハ二百文 松ハ紙ハ二百文

松ハ紙ハ二百文 松ハ紙ハ二百文 松ハ紙ハ二百文 松ハ紙ハ二百文

松ハ紙ハ二百文 松ハ紙ハ二百文 松ハ紙ハ二百文 松ハ紙ハ二百文

玉章 玉章 玉章 玉章 玉章 玉章 玉章 玉章

民部角 此長所ハ所ノ名 七夕 年半歳ハ月日ノ二日ニ成ル ヒ

七夕 表紙字ハ五百ニ成ル 田蓑島 此ハ蓑島ト云ヒ

高野山 此ハ高野ノ系ニ成リ 高根 高根ハ高ノ根ノ

高砂 高砂ハ高ノ砂ノ 谷 谷ハ谷ノ

紙 紙ハ百ニ成ル 多久 多久ハ

多久 此ハ多久ノ

多久 多久ハ

多久 多久ハ

多久 多久ハ

こめくら 居所 繪師 髮 左載
たとえば 大寫 炬 高
大木 擔木 道心 堂
寺乃堂 乃起 代发
たんす 蝋 蝋燭
物 たんぐ 硯箱

民 人傳 田み 居所 居所 庫 所
暦 礼 礼 礼 礼 師 師 師 師 師
連歌師 人傳 瘡治 瘡 料紙 猫
人傳 人傳 人傳 人傳 連歌

[illegible] 理乃中 [illegible] 給人 一無人 [illegible] 領家 一北院 [illegible] 昊 二無

[illegible] 肉 熟之脂 [illegible] 二白玄

[illegible] 七中 元七白玄 [illegible] 外面 二無所之外八三白玄 [illegible] 三白玄面八七白玄 [illegible] 三白玄 [illegible] 袖 [illegible] 袖 [illegible] 袖乃秀 [illegible] 袖乃秀 [illegible] 袖 [illegible] 袖 [illegible] 袖

素絹 一衣類尺義也　兼相 一宗近 一人偏　卒 尺

息災 一息れ字三　抑 三百ちく　惣領 一人偏　そ

松 二旧人偏就立松ハ尺義也　袖 一衣也　養者 人偏　俗 三百俗ちく

つ

つ　二本人つ　ちむ　衣類　義の字ニ三百　嵩 三巣ハ雑　嵩乃林

一ち人　抱三旧又林ち　嵩と林の字ニ三百　月 五ちく月次の月

旧ち就ち日本れ双林ハ山就ち名所　乃月ハ三ち月次月ち乃半人ち

月ハ名ちく　三日ちく　月 五月名　月 月ち　月 月ち

月ち　月ち日ち　月ち　月ち雷　月ち

月ち　月ち　月乃霜　月乃秋　月ち宿

月ち　月　月ち氷　月乃楸　月乃夏

月ち　月ち　月乃楸　月ち

月ち　月ち　月ち　月ち

月ち　月ち　月ち　月ち

月ち　月ち　月ち　月ち

きくのこと
たちそろふ

月代で〜浅堀 [illegible] 百ちゝ 面始心乃
月 雜之部 [illegible] 月に [illegible]
月草 [illegible] 月
や [illegible] 月入る [illegible] 月と [illegible] 月の
[illegible] 三百ちゝ 氏本 [illegible] 三百ちゝ 月 おうる不者
葛 二枝 [illegible] 五 [illegible] 霜 [illegible] 露 [illegible] 露 [illegible] いつまでも
[illegible] 雨代 [illegible] 秋 [illegible] 秋の [illegible] 月
八月 常代字 五 [illegible] 三さつ [illegible] 縄 [illegible] 縄 面 [illegible]
十一日

[illegible] 留 二百 併 [illegible] 常代 [illegible] 焼 [illegible] 尺 [illegible] [illegible] 桂 二
雜之部乃 [illegible] 桂 [illegible] 又 [illegible] 桂 [illegible] 桂 [illegible] 桂灰汁 [illegible] 二乃 [illegible]
[illegible] 字 [illegible] 字 [illegible] 字 [

彼 一人偏 亟一仕 二名 妻 妹 一名新あらため面 亟
義 大 彼八人偏 妹 妻の妹 新たつまん
妹付 字 三字 字 字 

所に墓よりと掘る乃里塚也二乃四 燕一燕 秋なり一所 ゑんそめ人倫 弦一かゝの弦一弟妹 つむ一糸を つむく一 たりやく 麻 ゆみ 弦 ひらく一 たりやく 麻 ゆみ 弦 ひらく 頭巾 綿 冠 ゆみ 弦 ひらく 一たりやく ひ 頭 ゆみ 弦 ひらく 一たりやく ひ 頭 ゆみ 弦 ひらく 一たりやく ひ 頭

四ツ目の目ヶ
ねうり 年玉
嵐 尻 居所
念 四念者人偏
嵐 尻 居所
ねうひ 二ぜん
ねうり 年玉

雨 [illegible] 和よ [illegible] 菜 [illegible] 所 [illegible] 洞乃岡 [illegible] 清 二名 [illegible]

洞川 [illegible] 洞よ 袖乃月 二名 [illegible] 洞よ

生駒 [illegible] 駒 [illegible] 二名 [illegible] 泣 [illegible] 名 [illegible]

[illegible] 鳥 [illegible] 歎 [illegible] 歎 [illegible] 涙乃滝 [illegible]

なごり [illegible] 名 [illegible]

なかのゐ [illegible] 余波 [illegible]

[illegible] 三百 [illegible] 無り [illegible]

[illegible] 也 [illegible] 也 [illegible]

成 [illegible] 成 [illegible] 成 [illegible] 也 [illegible] 成 [illegible]

[illegible] 也 [illegible] 雑波 [illegible]

津 雑波に水をそそぐ乃字なり

雑波津乃そそぐ 雑波津乃奇 そそぐに水紙二

津乃亟 雑波の集れ より行あるを

雑波 一かくして あんを一

水をそそぐ 紙に水をそそぐ

なるる 一紙 紙に水をそそぐ 乃字二百始の彩り三百

友乃月 友月乃 所に委

友乃 秋 終 みゝをきゝ心あるゝ其れ

中

中 長 一紙 天一紙の半 紙なり

一紙めゝ紙 紙 別へ七百

なごゝ 関 少 なり

なゝ 習 五百 習 二百

波 秋 内 所乃 乃 乃 乃字 波 枕 十三

波枕 毎 なゝ

なゝ 三百 なゝ 三百 なゝ 三百 なゝ 三百 流 三流 人 流 流 流 流 流 三の

なゝ 月 月 月

風中ことら 三 桜 三 繩 三 長
れ字 七 れの字 三 長拉字 三
やるくちわ草 植物 南
寮 部 勿 付 芥子 人の部 ありき
三 南 人 二人の部 鯨 二人の部 納豆
豆 七 もよ 粟 長き 長
南 蛭 繩 ありの木 雑

南天 熟 実は秋 実は秋 蓋 三 南
南 成 成 蒲 三 芥
ら らーとらーしらんとらーしらんとら
字 ら ら
不一蘭 れの字 笹 老翁 老翁
俗 老翁 人 俗 礼拝 寧人 帳

蠟燭 一説に らし 高さ七尺ばかり 櫛下 おさ 博 一説乃うち一

羅生門 長四尺 あしき 梨 極小なる 来 こうこ 三尺ばかり

狼藉 一説狼狽 狼狽 傷 傷 傷 多 多 多

卒都婆 一説卒都婆 蠟虎 虎 虎 

馬場 馬場は旅宿なり　る 敗障子 月 おほ　馬場むまばなれ　る 敗障子 月 おほ

室ちい鳴 室ちい鳴 よはり　室ちい鳴 よはり　薄 二新　薄は居所又二百もの　玄常

座敷 旧旅 秋 稀 百もの　座敷 旧旅 秋 稀 百もの　室ち戸 此居所 尺寸 寸付てあり

るもの　家 おむろ 三家 むろ 去　家 おむろ 三家 むろ 去　家乃るやる 先所 よ　むろ乃

木 家井字 きこりいもの　木 家井字 きこりいもの　むちこ 二本 離れ 多 所 茂木一　むちこび 暁 船

原 多 けだもの　胸乃 霧 霧 降 地　胸乃 霧 霧 降 地　胸ふん 二百 もの　胸ふん 二百 もの

むしでと 二 多 家 多　むしでと 二 多 家 多　逆 向むち ひ乃 家 と 二百　逆 向むち ひ乃 家 と 二百　鞭打 むち むち 洞 う



抜 字 二百 多　抜 字 二百 多　むゆ ゆ ひ い く 多 也 出 酌 二百　むゆ ゆ ひ い く 多 也 出 酌 二百

なる 多 く 花 の く も る　なる 多 く 花 の く も る　山 家 ひ 乃 花 秋 く 多 家

保 き る 百 行 ハ 秋　保 き る 百 行 ハ 秋　むしの乃 花 春五 ひ ち ち く 花 物 地

詞 八月 ニ、キ 七日　詞 八月 ニ、キ 七日　る よ 多 車 行 我 と 花 但 木 車 ゆ 多 ン レ　る よ 多 車 行 我 と 花 但 木 車 ゆ 多 ン レ

る ひ の く ん ひ の く ん の く ん と 花 今 ん　る ひ の く ん ひ の く ん の く ん と 花 今 ん

よ る き 多　よ る き 多　武 藏 の　武 藏 の

三 る 多　三 る 多　鼻 人 強 く 多　鼻 人 強 く 多　む く 八 二 多　む く 八 二 多　世 と ん 世 と ん 嬉 む き と 世 ね

む り う 二　む り 二　む り 世 裏 セカイ　む り 世 裏 セカイ　裏 尺 表　裏 尺 表　む そ ぶ 八　む そ ぶ 八　む く 偽 表 偽

逆 ひ 雪 天 表　逆 ひ 雪 天 表　む り 雪 天 表　む り 雪 天 表　棟 一 む る 多 本 一　棟 一 む る 多 本 一　音 弁 多　音 弁 多

抜 二 る 多　抜 二 る 多　胸 三 胸 乃 月 抜 尺 表 と の 月 多 る　胸 三 胸 乃 月 抜 尺 表 と の 月 多 る　む り 九 三 る 行 く 多　む り 九 三 る 行 く 多　ひ さ　ひ さ

きゝ　二ちゝく　村雨　不下　付松の二村雨　みはのもとの　夢想　夢想

武蔵　ひとしく　ふる　ちゝて　村雨　ふる　ちゝて　ふる　ちゝて　ふる　ちゝて　麦　一反　条　人　の　一　ぐく　仮　不　言　ぶ　二　しを

ふ　むしろ　棕乃ま　秋　むしろ　つくる　二　ま　ま　二

う

冨　世　ひとしく　ひと　二　ま　ま　一　る　に　うゝみ　三　建　招　ぐ　切火

秋　ひと　結　い　ま　ま　国　悲　春　三　の　ち　く

ゆく　秋　ちく　浦　と　海　ちく　浬　四　占　二　内　一　ハ　ま　て　有　うゝね　れ　生　生　二　ア

は　芽　生　ま　生　ま　の　ち　く　う　蛭　居　不　ま　ま　る　ま　く　乃　字　ま　し　か　り　て　ち　牛　ま　ち　ん　し

うちまゝしり　ぶ　ま　ま　ま

矢ハ百秋ノ

うそ　言わと姫

白土　西と姫

歌　二色奇不奇わと姫

落乃字　うもそ

一後拾遺集

うそ　二百ゑ歌ゑ

うそ　二声付

うそ　上ハ字二百

鶏　一ハ人

鳴　一人倒く

鴻　一ハ人

うさぎ　二百ゑ

鵜　二百ゑ

鵜の字　ゑ

鵜の巣　一ハ人

の

猪　二百所

猪の字　三百ゑ

君ハ字　二百ゑ

井　二百所

井乃字　井

井場　井

井宮　井

井院　井

井炉裏　井

井戸　井

浦　二百ゑ

浦の字　ゑ

浦の字　ゑ

浦の字　

丹異付ら　野乃花　三枝　乃浮り　深　疎　暑
秋　桔梗　秋　靖　う　野乃宮　別　秋　所　稜
日　荷　交　役　月　野　山　付　秋　植　野　原　八　宝
乃　丹　乃　乃　せ　乃　乃　乃　乃　乃　乃　乃　乃
世　世　世　世　世　世　世　世　世　世　世　世　世
狭　狭　狭　延　野　山　乃　乃　乃　乃　乃　乃　乃
野　と　焼　野　野　乃　乃　乃　乃　乃　乃　乃　乃
軒　軒　軒　軒　軒　軒　軒　軒　軒　軒　軒　軒　軒

軒　乃　蒼　長　雨　乃　乃　乃　乃　乃　乃　乃　乃
野　丹　蒼　長　雨　乃　乃　乃　乃　乃　乃　乃　乃
道　唯　のぐく　蚊　四　蜜　糊　除　苔
道　唯　のぐく　蚊　四　蜜　糊　除　苔

苔むし　二百文　又は三斗

**ホ**

**老**（おい）　一本抵（ていこう）　又は一老（いちろう）　又は一本　又は一老　又は老　又は老　又は

さるとりうちこ二疋雑訳度こ四度乃ちまこれ二疋雑訳
このかすこ　こまこ　仕ふ　ふ　ふ　

三ラコヤマ 男山 弁慶よあ〜ま石屋あり 付てらるーかっこ

怨霊 一たまうーわれと死 うーこ二百ちっ多へ

く

能 一能乃皮くまて 能役者等乃 ちらに今二辺上二辺

車 一代車水車 一疾車 一汐車 一汐血の墨代る乃

香車 小車 死車 油老 四乃あ〜こ面と略なり

菊花 花の菊代 花の菊代 所〜菊代 菊牡丹のやうに紅と人てこ

暴る 一月に後ろよ一氏市 代寺 ろり一憂暴云菊

水八付てもふ美 暴云 字云 ちっこうんとろ〜こてく

雲 月の暴云二百ちっこ

雲井庵 菊草 抽こ雲 の天回ぶこ

雲井 大内乃事こ 天子 天子 回ころり

雲井 雲乃事を云 天子 天子 回ころり

菊刈 一人倫云菊 菊刈 一菊を刈 一菊を

菊刈 天子 天子 回ころ

菊刈 菊の刈 刈 二百ちっこ

菊刈 菊刈八面と略こ

菊刈 菊の刈 刈 二百ちっこ 菊英

菊刈 菊刈りり 刈 海なり

菊草代庵 一つ菊代 菊ふこ 抽物 抽こ 抽こ

の松こ 抽こ 抽こ

抽こ 抽こ

抽こ 抽こ

[illegible]行乃[illegible]　本文二百[illegible]　掾　二る　掾一　くるく　萩　[illegible]

暮　二百[illegible]の字考[illegible]　[illegible]　[illegible]　

やく 薬 原製 ちと 人 偏 ちくるまく 一 栗 くぐく 意 伝 一名 一名 一名

秋なく山おく沼耳 地こしろ〳〵 瀧ら かからん

山鳥 姓出れる山乃字 三白去ろう

山ん滴 山の雫 姓源地

山下 端 山の雫 姓源地

山陰 山重なりけり 山ん錦 紅葉 面とさいろ 紅葉

山科 姓 紅葉 山柴 姓 紅葉乃 山雲 紅葉乃 戸紅

紅葉 紅葉 紅葉 紅葉

八懐 八重 二字七白去 字七白去

山やく 山やく畑 畑やく 畑やく 畑やく

流鏑馬 矢 面 矢 面 矢 面 矢 面

人倫 妻 面 姫 妻 面 姫

屋敷 屋 敷 屋 敷 屋 敷

さらし 俳個 やもめ 姫 やもめ 姫

やり水 やり水 やり水 やり水

山伏 山伏 山伏 山伏

人倫に尺義に歩分とのくらいやう 休 三体足一 やよ 二やよ同数 大よ 猶 彼 氣 秘 筑 ありう

やうと云 三だうりてみやく 之 なる 之 の れ く 山橋 名所八ナ 雑 義 ヤブ 二うり 和 よ 打 紙

姫 所 も 打 紙 山窓 名所 ようして 長 所 よ 二百 三百 三百 ありう

松と雲 五百 人と まつと 四 しくと 二百 松風 二百 人 松乃 松風雨 あまとも 落 也 よ 二百 去 松風乃風雨 波也 名 松乃色 ひくま 風 作 う 松 二百 ありう

の緑 新 こ 言 と う 緑 と ま ま ま 松の花 也 名 也 花 正 花 松 葉 松よ 二百 去 ありう

松浦 松 浦 松 庫 松 よ 三百 去 ありう 也 打 松山 末の松 去 れ ま 而 松 松よ 五百 去 ありう 也 打 松浦



心 れ 松乃門 門 所 う 也 松乃 る 所 ありう 也 打 松 頂 頂 亀 う 亀

松籬 籬 ま く う 也 よ 二百 ありう 人 名乃松 絵 よ 去 松 所 松腰 腰

柾 桂 拍 松 笠 八 桂 也 松乃葉 緒 炉 浦 松 葉 同 名 松む し

ま 名 所 也 柾 桂 拍 松 斧 松 乃 実 籬 竹 霞 又 八 侍 名 よ 三

う 人 名 所 よ 文 籬 本 の 字 ふ 絵 う 絵 窓

こ 数 ま 名 所 第 二 百 去 桂 ま 第 と 去 八 絵 越 第 窓

世 れ 不 子 制 の 字 皆 こ 二 百 去

よ 戸 二百 ま 正 木 乃 ぐ う 本 字 よ 二 百 ま 本 と 第 と 去 絵 汐

み ま 兎 ま り た と 一 ら が 杭 香 ぐ 乃 ま う り

[illegible]

[illegible]

[illegible]

孫 一子孫 一孝面と始る さぐる 三 鞠 一蹴鞠 一まりと川一 紅屋 新紅屋 新紅屋 新紅屋

巻 四くわんも四れ内之巻に 巻よ 巻よ 巻よ 巻よ 巻よ 巻よ 巻よ

文れいわうぞ文七白ちく 二白ちりしく 巻 巻 巻 巻 巻 巻 巻

波松いつき 一よ足乃まめ一仔 一仔 一仔 一仔 一仔 一仔 一仔

も猿ゆり 豆 一よ足乃まめ一仔 一仔 一仔 一仔 一仔 一仔 一仔

豆れ西付てゆ苦 糸 糸乃字八七白ちく 糸よ

り者 目眼八五白ちくまぶく

まくれまぶさ眼目面と始 任乃字 四えり 藤

れ字 七 去乃字 八斗 ちんの字 四えり

二白去 二白去

二白去 二白去 二白去 二白去 二白去 二白去 二白去

二くん旦くよ八日を今を始くん日よ今二 燻 五

白ちくくよ時るぬ二白ちけさに今不始 白

ちく焼ふくそぶる同ちよ成之巣八付ふ

うくさ付てゆ苦 飛 巣 飛 巣 飛 巣 飛 巣 飛 巣 飛 巣 飛 巣

五と まり

の手 くり

三とまり はちの人中 くて 毛

白ちくん よ 二白ちくり ちが

毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛

面と始 毛をうる 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛

夜人 偽 獣 獣 獣 獣 獣 獣 獣 獣 獣 獣 獣 獣

白ちくん よ 二白ちくり ちが

の検校八人偽白當 同ち 三白ちりしく

検校 一尺 長之 偽 表之 他人 偽 白 獣 獣 獣 獣 獣 獣 獣 獣 獣 獣

の検校八人偽白當 同ち 三白ちりしく

つく 一ちりしくむげ 下戸 他人 偽よ 傾城 うくれ 恐 白 白 白 白 白 白 白 白 白 白

白柏よ白ちくれ

を 下 鬲 人 偽 氣色よ 毛 四人 偽 生 氣よ 夢

白ちく 白ちく 白ちく 白ちく 白ちく 白ちく 白ちく 白ちく 白ちく 白ちく 白ちく 白ちく

ちうぬを 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛

[illegible]

三句云 袈裟（ケサ）衣（一衣ハ尺ニ成ル物ノ袈裟ニ切ル）獺（カワウソ）の 如ハ二句云 如ハ云ハ分ケテモ云ル事

[illegible]と（けさ二句云）[illegible]れ字（八字ハ[illegible]ケテ[illegible]）

一氷乃紙[illegible]

[illegible]

## ふ

**古々**（フルフル）抜ハ名所一ニ古々抜ハ[illegible]て里ヲウテ今一ニ日古々三ハ[illegible]三ヲウ[illegible]加ヘテ

[illegible]皇居の高ハ[illegible]都西ハ[illegible]

[illegible]

吉野の[illegible]皇居（クワウキヨ）[illegible]古々（フルフル）[illegible]ハ秦良志ハ[illegible]

[illegible]都の[illegible]古々（フルフル）[illegible]猿乃（タビノ）[illegible]

[illegible]猿（タビノ）放郷（フルサト）ハ西ハ[illegible]

藤（フジ）一名ハ[illegible]紙の[illegible]面ヲ云ヘテ 冬枯乃野山（ヤマ）ハ（[illegible]）[illegible]

一紙ハ一名ハ[illegible]ん一玉章も四内ハ[illegible]

又云又者又武葉又又庫[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぬぐ 衣 雲七百去る 風祝 二百去る 除と云
字八面と拾欠乃字三百去あり 除乃字
八花乃ぬぐ去て 雲二百去る 冨士 山名 川
二百去る 源氏野 人名 あしす 紅 五百去る 川 海 松 ぬぐ 浦の川
朝の花 海 ぬぐ 海 海 松 海 海 海

尺 袁 枝柿 一茶 三白去 解 三白去 永長 永改ると長之人偏 ふ

世 三 ふとろう 一谷 袁中一 郎 人偏に三と書く 人偏

ちゝ伏 ちゝおとゝ 服 茶 一呉服一 風呂 居所之凡 二白去 之凡炉 二白去

普請 一家を造作 ホフリ 家を造作八二白去 ノ川普請

と

古柿 コガニレ 一名之所作本柿 と柿と云字もちろん八三白去之人偏 ふ

敬の字 二白去 凡柿 三白去 二 高 二白去 今一名 嘆 色 皿 ちゝ 高の字

三白去 ちゝ 高 ちゝ 高 ちゝ 高

氷乃こく 紙も立ち過ぎ

綱云後てゝ下り 苔の内 やく ま 云つまわさまと云ふ

こく 兼云 私云後云 ろ

こゝろ こゝろ 云ひ字 こゝろ 言ふ こゝろ

こゝろ こゝろ 三百内り

こゝろ こゝろ こゝろ

こゝろ こゝろ こゝろ

こゝろ こゝろ こゝろ

[illegible]仕ても
[illegible]かゝす 東風 [illegible]
[illegible] [illegible]
[illegible] 木枯下闇 [illegible]
[illegible] 小島渡 [illegible]
同[illegible]小[illegible]
[illegible]八雑[illegible] 契[illegible]
[illegible]門同 昆布 [illegible]
[illegible]
[illegible] 志 [illegible]
[illegible]
[illegible] 木[illegible]
[illegible]
越路 [illegible]
[illegible] 五[illegible]
[illegible] 五[illegible]
[illegible] 金剛杖 [illegible]
[illegible] 胡

蝶 小乃字 鯉 [illegible] 後[illegible] [illegible] 食 非人
倍赤 懐 [illegible] 人倍 [illegible]
[illegible] 碁 将棊七ゐ [illegible] 絆 [illegible] [illegible]
[illegible] 呉服 [illegible] 雷 [illegible]
[illegible] 火燵 [illegible] 簀 [illegible]
[illegible] 木[illegible] 葉乃里 [illegible] 今年 [illegible]
扈從 人倍 兒扈從 [illegible] 粉 [illegible] 椙乃

鷺鴨 水鳥 人倫 琴

琴 琴 琴

## え

えび 海老 人倫 えびすめ 恵比寿 人倫

## て

寺 寺 寺 

帝人 傷ヨ 天図 一系統 おとと姫 ヨみ 二句ちく 文と無量寿経 ヨ

あ 人傷こ 月日ヨ世 眠をてゝ世を一せゝ 寺ヨ 塔方ヨ庫寺 眠義付てゝ若

てんうん 一色てらめち 天守 一番所ヨ城ヨ 物を始なり 手して持 独只 不付

たゝるゝ ゝむ八九日始ゝ 調布 ゝヨヨ七日 ゝ始ヨ面也 調子 一拍ひく 書付て若 純子

蜚車 一ヨ白ちなと

盃酒初と始ひさけ ヨ面と始なり 天人 一帝人傷天ち 羽衣ヨ ちく面とさゝ始 天道 せいりんゝちく面とさゝ始

天下 色て天下 ゝヨ若 狭炮 石火矢大筒ちち ゝヨちヨ面始 ゝめ始火ち二句ちく

わ

雨 ゝ雨ヨ雨ヨ三月内ゝ 雨ヨ三月内ゝ 松風乃雨

雨乗ヨ雨ヨ 雨ヨくの四ヨ始ヨ 二夜始ヨ三句ヨ ゝヨ雨ヨ雨始 竹の露 七句ちく 九月ヨ九ヨの夕

玄ゝ雨ヨ夜始 天雲夜始ヨ非 雨雨 雨ヨ 霜雪 霜ヨ 雪ヨ 夜始ヨ雨ヨ雨ヨ 二句ちく 閑仏ヨ尺

ヨ雨ヨ雨ヨの 雨ヨ雨ヨ雨ヨ雨ヨ 霧 三雨ヨ雨ヨの 雨ヨ雨ヨ雨ヨ雨ヨ 霧乃

雨ヨ雨ヨ雨ヨ雨ヨ 月 一ヨ月ヨ乃月一ヨ月ヨ字ヨ 月ヨ月ヨ月ヨ月ヨ 名月 月ヨ月ヨ月ヨ月ヨ 秋ヨ 秋ヨ

名月ヨ月ヨ月ヨ月ヨ 秋ヨ月ヨ月ヨ月ヨ 秋ヨ月ヨ月ヨ月ヨ 秋ヨ月ヨ月ヨ月ヨ 秋ヨ月ヨ月ヨ月ヨ

[illegible]字に二百五十四の字三百五十
[illegible]所乃[illegible]山所乃あり[illegible]
二百[illegible]字に[illegible]二百五十[illegible]
[illegible]のうち[illegible]八[illegible]
日月[illegible]
貝分 [illegible]

[illegible]乃も[illegible]字と[illegible]
[illegible]字に[illegible]
[illegible]字[illegible]
[illegible]字[illegible]
[illegible]字

百人一首 一首 松風 一首 二首 代々 網代

網代の床 二百 明石 二百

網代の屏風 柳 二百

秋の田 新 二百

扇 二百

東あそび 清書 二百

檀 二百

海士小舟 初瀬山 二百

秋と嵐 五百 嵐

紅葉 秋の夕 二百

秋と霧 霧 二百

七夕 天の川 二百

秋くれば 天の川 二百

逢坂 二百

蜂乃巣し　秋の暑四三もゝ〜叫ひ
秋くれ四　白桃貝拾ふゝゝあとき〜愛　秋ゝ
季貝の　乃ゝゝ乃ゝ　ゝ　ゝ　

糸瓜 おなじ三百もく 紅絹二ろも 穴 二百り 元笑一 熱 一れり 一町 乃火之付 價 ゆ 什わと

きしろ ぬし ろうそく 面をぬく 荒式字五 あ面しろめ

行そう 米一 油 一式 油一 當も 三百もく 用ゆる節会 もろ

のやろう 一式 はア一 天淳 下二百 ろう あぐろる 魚 れ

色 糖 一みそ れあり 大分 色 比炭 付そうる ろう あやれ 二色 ゆ一 芋原国 れ ゆあ

色 雜 ゆ てれろさ 七百もく 知ろさ 浜 れ ゆる 下ゆる

月 れそ有 ろん多く あんと 一式 へまも 実 れる ろう ゆ ゆ乃字三

足 一そく 一脇面と ゆく 足 ゆ 七百もく 足袋 沓木履 二百もく 油 ゆ 二百もく 成 れ 足 ゆ

ある色 化 ひう わまろ 二 改乃字二 集ち字三

## さ

五月雨 さ月 れゆ 猿 ゆ 猿 ゆ

ちびしゅ 二ゆ ちび 沢 ちびる ちも ゆ 沢

乃 ちび 沢 ちび 沢 ゆ 沢 櫻 ゆ 乃 櫻 化の まし

絡 かし けてる れる 櫻 字 全 ゆと四 家 櫻 ゆる 居所

大 櫻 ゆ 櫻人 ゆ 人 櫻 ゆ 櫻 ゆ 櫻 ゆ 櫻町 中納

言 櫻 乃る 内 櫻 乃 ゆる の 櫻 ゆ 櫻 ゆ 櫻 ゆ 櫻 ゆ 櫻 ゆ 櫻 ゆ

楊網 楊貝 ようあみ 拾遺抄 楊がさ 楊麻 五くさ言うと行く あてい 新し 拾遺抄

楊乃盤 新し 拾遺抄 楊川 新し みかわ 楊井 みかわ

拾遺抄氏乃井 ハ 新し 拾遺抄 ハ 一かハさゆる一ぬ八さゆる二ぬ 新し 拾遺抄 ハ 一ぬ八さゆる二ぬ 新し 拾遺抄 ハ 一ぬ八さゆる二ぬ

楊 ようさ 楊 ようさ 楊 ようさ 

う人物 沢 二字所丹一沢山八沢ヨ三百ちく
山乃字同ジ沢山沢水色ヨ
さ山 ヲ山のくらう乃字付ク、略ス
ち、浪や大津乃文 ヲ多ク
ち、秋名され兼さ象 みう二百ちく
さ秋つくき月 ちけぬ 分て八同さ
酒 一ヲ也一ヲ酒ヲ 略臺ヲ赤月二
指乃字 戸月日延象 ミヲく三百ちく
五月 ヲ四一百ヲ也月紙 ヲ月ヲ八ヲ
月ヲ酔ヲ月ヲ月ヲ月ヲ月ヲ月ヲ月ヲ月ヲ月ヲ月ヲ月ヲ月ヲ月ヲ月ヲ月ヲ月ヲ
月ヲ考ヲ付ヲ国二百ヲ
伝他 ヲ代字
さ字 ヲ代字 八乃字
ヲ二百ヲ
や付ヲ三ヲ二百ヲ
ヲ付字ヲ月ヲ
ヲ付字ヲ月ヲ
ヲ付字ヲ月

秉乃字 二百 新乃字 二百 在乃 一百 三昧 考文 三百 さ

さぶら 二百 侍 二百 けらへ 二百 坂 二百 おさらい 二百 けらすら

樣 一百 さぶらくるの 二百 皿 一種乃皿 ひさの皿 坂乃字 二百 所ハ

宮乃字 四百 滝 二百 所ハ 柳 ハ 木ハ 非紙 ハ 非紙

き

蕎 一百 今ハ 非紙 蟬 一百 所ハ 非紙 きりぎす 一百 所ハ

くとあるとあり

ハネ不 名所 一百 彼所 一百 硯 一百 所ハ 筆乃字 二百 所ハ 二百

きぬく 一百 三百あり 用捨 三百 三百 三百

菊乃きせわ　霧ふる　霧乃ものさ　霧乃ものさ
霧ふる　霧乃ものさ　霧乃ものさ
霧乃ものさ　霧乃ものさ　霧乃ものさ
霧乃ものさ　霧乃ものさ　霧乃ものさ
霧乃ものさ

夕暮 夕立 夕月 夕川 夕やけ

夕くれ 夕つゆ 夕雲 夕ひぐれ 夕幻 夕くく 夕月

乃ゆく名ゆく名ゆく名ゆく名行の字三百余
字ハ二百ちゑ分ハ白張世ハ白張ハ行ゆく
ちゑ二百余 行来 二行来三ゆく 余く行来ハ七百 指 二ゆびと
さゝ 昭衣 一帷 ゆゞ
一ゆう 遺言 一遺戒遺 表紙一 ゆるして 二 寛免 一ハ免ゆるしゆるして面とを
む一 ゆうり 一所 遠一 遥昇 一長傷へかゝ 譲 三 湯 一象湯湯 三温泉一 住
ちゑ二百余 楽 一百ハ付て不苦 ゆるし 一 ゆるして 余く 一 ゆるす 余く 一 ゆるす
付てお苦とよ 緩 一ゆるく一ゆのゆひ ゆるび 一 弁紙延白 緩れ解よ
ゆ面とゆるし
さて ゆぐ 余くきやふ下字れと
唱食ハ肺布ハ二百ちゑ 様 一ゆう 百合 二衣
ちゑ嶽 ちゑ

硫黄 一硫ゆう 硫ゆう 硫ゆう 油 一柔 油煙 一柔
二百ちゑ黄れ 行 三百ちゑ ゆきゆく 行 二百ちゑ行ゆく
ゆ字ハ二百 偉乃字 四 行 ゆく 行ゆく
ゆ 名神 名神 名神 名神ハ せと 名神ハ せと 名神ハ せと
陸ちゑ所ハ異紙 ゆきとゆ紙ゆ 和布 雑 名所 名所
二百ちゑ ゆく 五 名木 名木乃 名木ハ 秋 名木乃 名木ハ
同 四人 人乃同 人乃同 人乃同

う

亀人同利 一尺より二分去 同ちゑ一寸 此技術より古き事なり

鍛刀より名人なり 二寸去 めぐる 七分去順次 又八三分去 姪人 めう

ちゑ乃ぶ 尺寸人倫かり 七分去 めうり 一尺去 めと

人倫とおしらめ人摩 おと

始乳吞より二分去

出代字 二分去 同とり めとめ 此述懐より 同とり 尺の字

付て 去 面 一尺のうん 眼 義 此一尺去 めけ

三分去 三分去 三分去

み

物 二此表形色よりもん 色付て 分 義出 義 此ハ義 義 二分所 義打と 岑 二分所 義打と

此岑面と 此神 乃ねる 根 根 面と 接 尾と 岑面 分

分と 分 分 分

一天尾上の天八神紙数天皇語こくわと
極神紙こつく同ふ神紙こ皇語こうう面ふ義よ 両打幾と
表付て 拒仰を拒乃
ふ者 三字假名 御 ひんでゐんぎ
五白ちこ同 三熊野神の みぞれ 宮代七白雨
うこ八面と始 三吉野 字二白ちり ゆ白
南無 ちこ石 分よ 三枝こ 絵めうを 水と乃
三白ちこみ 御 稜 ちこ 乃ちよ 周 二白ちこ周 ちまれを
ゆうひちこ 面者み色こ
みるゆとちてみる 水ちこ 夢 秋 海 雲 二白こ別 乃と
みのれ八付てうりう 周 二白 御の字五白ちこ 濃 二白 こて
く 三白ちこ

ぐう 幹こ御の字 付白と始こ みうぐ 御の字付て 表帝こ みこのり
初こも 詔ちこ 御 御の字五白ちこ 神こ八こう 御乃字付てうりう ちると 金こも
此の字注字五白ちこ
こ後こ御の字 付白と始 三寺 御の字 御 幸 行二白ちこ みぐけ
こ初こう京代 御 みこれ 浦みくれ
御こつ面こ 水よ くまて
ここりう三白ちこ汁ちこ きこ 二白ちこ こみきて三白ちう
道 受法無法 の法八二白ちこ みぐう 緑乃字付 乃ちうて
此世懐ちる 形ちこ 見ちよ 形ちこ二白ちこ ちこ 乃

七月七日ニ三ツ物ヲ祭ル
田之初ヤ他ニもいなゝあり 水葉千ツリ 苗代之 遠く 長字二百五
三条作き 長八尺 太 三みごろ 右大ト同ときゝ 簑 一ゝの出ゝのだりあゞた
一名所八七百
きゝ ぬあり 都よ ぬあるる付 て不苦 水地ハ牧 地水 遠よ みりく 三
三川 二水 遠之 箕 水ハ 一ゝと 皆 ゝる みとゞ
ゝと本ゝと作ゝ 今ゝとゝ
百姓あゝてもとゝる ゝ歩 乃 所に をゝ 腰ゝ 作ゝ 不可付ゝとの
刑よゝ之 御陵 陵墓 未練 一ゝゝ 付て ゝ若 湖よ 九二百
宮ゝ ゝ
三瀬川 世ゝ 御幸 一名幸行 天木川 地 三井寺
帝

地名 水ゝ 一攻、三攻 壬 地乃宮四耳 一攻二百五十六 の耳 一攻五耳 眉間ゝ
長ゝ 同よ 四屋 長ゝ 早ゝ 本ゝ よ 姫三ゝん
二百ゝ 月屋 ゝと ゝ
ゝ 長本ゝ ゝ 水ゝ山 ゝ ゝ 緑乃宮三
て二葉一

雨 ゝ ゝ ゝて ゝ ゝ ゝ ゝ
の 雨ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ 用
雨ハ ゝ 塩 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

麻の葉　麻毛の筆ト麻枝ニテ麻茎ノ麻ノ形ニモフム所
彩ノ如キ紋ヲ麻ト云テ　家紋麻
秋　下り藤　藤ノ花ノ二ツ
下　八重咲ノ八ノ四ツ藤也　枝ノ末ニ二ツ
下　藤　一重ニ咲ク下ト常ノ花ヲ
下　藤　ヒモ　紋ノ下藤ト下藤乃関ヲ
ヲ白ヤ紋ノ公家ノ
ヲリ　待　紋ヲ待ヲ人
ヲ　ヲ　一ツノ所ニ
ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
ヲ　ヲ　ヲ　ヲ
ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

[illegible]付白姫水面と掛く[illegible]
[illegible]三百[illegible]屋[illegible]一[illegible]と掛也 **栄**(レバ) 三栄の戸 栄れ廃 水鶏 尺義
枝双と 掛也 **志ゝとり** [illegible] 尺義こく **雪下**(ユキシタ) 志ゝて
一百[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

蓙 二ゑ(一沉香) 志とね(二帙 炭ゑ) ちげき(三おもてくるまくるふ 可付但俗名ゆり)

蒭蓙(一ゑのつよ 折ゑ畳) 汁(一脇おけ一重 汁ゑ) 頂穢(一帙おろ 暫て之) 紙(衣 ゑ)

青瓶(一ゑ ちり ゑ) 著(一ゑ) 碁(碁七名ゑ 双ゑ代ゑ) 死乃字(四)

ちんき(一病乃名 名ゑ) 浄衣(衣 ゑ) 袂金(一ゑ 五ゑ) ゑ如ご

水ゑ 白河関(ゑ ゑ) 紫(ゑ ゑ) 十徳(ゑ ゑ 衣ゑ) 京

滴(二ゑ) ちくよ(三 ゑ) 白君(一ゑ) ちくれば(二ゑ三 名ゑ) 代(五 代月)

代の師(ゑ) 近(一人 ゑ) 燭臺(一ゑ ゑ 行灯ゑ) 霜(四ゑ 秋ゑ)

眉(ゑ ゑ 月乃ゑ ゑ ゑ

## ゑ

絵画かく筆 此桂拍よろこん
くてよまれ夢 右衛門府 此人傷よ 歩士
燒火 或ハ 恵比須 祇園 乃内ともら者 摸乃丈 新しく 繪画
一名ハ一ハ 衣紋つくろふ えれ 面ハ白 あび 一あび勝ち〜一 あびと
よ一 はゝ子老ける

## い

国 此人後ろ ひとゝ内 稚多 一人傷けり 碎 一月ゝ美ゝよ多よ
と一国 碎人傷ゝり

氷室 一ゑ〜ゝ 氷室の書ゑ 碎二
ゝらゝ七月ゝ ゝゝゝ氷室ゝ 如姫
松姫 ゑの 月ゝ ゝ 一秋ゝ悔ゝ ゝ 一悔歩今一 蜘ゝ 蜘ゝ ひ
ゝゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

ゝゝ 一ゝ月ゝ ゝ ゝ 拙一以上四一文字二百ゝ之拙ゝ ゝ ゝ ふ
若ひゝゝ一人ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ 坐人傷月ゝ ゝ ゝ

八人傷ゝ此ゝ一人ゝ ゝ ゝ ゝ 二百ゝ ゝ 菜の 拙活仏具ゝ拙活
乃ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

かくあく日乃墨ち日紅日ふさん日乃ひろうん乃日照日ちくく月
のくらゐる日只今月ふるさとめ白はいは次の日ちうあくまくく
やなり　同　傭　日次乃日之人偏ち月　えの　法　表ち月月ち
ゆ　本日光ゆ日ふ三乃ち　上カリ　上カリ　二乃ち　表ち
ゆ　ち　ち　ち

時 冷酒 秋ノ冷 食ハ弥 膝 靴 一ハ草ニ 廣ト廣 月ノ異 二ノ
同ク 早ニ 白ケ 人ト 同ハ 正月七月 他人 彼 人 貪 ヨクヨクキ 人ニ 貪ル
ひそう 秘蔵 ソウ ソウ付 ひそう者 ひあむ者 俗用ヨリ
付テ不若同ル ヨハ二白ケ 益ス 益ス 一同 中ノ 裏 奥 一ル 第一 ひあ ヨリ
額 一岸ノ 翠 碧 一四ノ 象 ひさい 二白ケ 二白ケ
ケル ケル 光 明 人偏ト 明ト 人偏ト 武ト 人偏ト 武ト 人偏ト 武ト 人偏ト 武ト
茅ト矢ト 付 百姓 人偏ト武ト人偏ト武ト人偏ト武ト

## 九

物とたる　もの

紅葉橋四の色　三十一字あり

紅葉　一字あり

紅葉　一字あり

紅葉　

望月治 秋 百千 百千 雅楽寮 伶人
虫 雅楽寮 会衆 百千 百千 雅楽寮 伶人
楽人 楽人 楽人 楽人 楽人 楽人 楽人 楽人 楽人 楽人 楽人 楽人
りてこう 久て 久て 久て 久て 久て 久て 久て 久て 久て 久て 久て
とりの詞 持二 戻 戻 戻 戻 戻 戻 戻 戻 戻 戻 戻
同代 非人 伶人 拍 拍 拍 拍 拍 拍 拍 拍 拍 拍
あつもせ 猿 元 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋 宋
句作 句作 句作 句作 句作 句作 句作 句作 句作 句作 句作 句作
月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月
主水 主水 主水 主水 主水 主水 主水 主水 主水 主水 主水 主水



みと付てうる 桃 一箱八寸 二尺五寸 二尺五寸 二尺五寸 二尺五寸 二尺五寸 二尺五寸 二尺五寸 二尺五寸 二尺五寸 二尺五寸 二尺五寸
加 桃 一把 弁 拍 拍 拍 拍 拍 拍 拍 拍 拍 拍
りう 一りう 一りう 一りう 一りう 一りう 一りう 一りう 一りう 一りう 一りう 一りう
持拍子 持拍子 持拍子 持拍子 持拍子 持拍子 持拍子 持拍子 持拍子 持拍子 持拍子 持拍子
帽子 尺義 帽子 帽子 帽子 帽子 帽子 帽子 帽子 帽子 帽子 帽子
三百 三百 三百 三百 三百 三百 三百 三百 三百 三百 三百 三百
三百 三百 三百 三百 三百 三百 三百 三百 三百 三百 三百 三百
もてう 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子
もてう 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子
木綿 一衣 一衣 一衣 一衣 一衣 一衣 一衣 一衣 一衣 一衣 一衣
毛氈 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
もうさ 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子
もうさ 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子
りくさう 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子 拍子

てきもの、股を拔く　股拔物

門跡　天皇　屬の字も

ろさ

## せ

瀬　二ノ瀬　二ノ瀬　瀬戸　瀬戸　瀬戸物　瀬戸物　芹　蟬　蟬の抜殻　節分

節會　節會　関　関　関所　関所　関所

せめて 二字共ニ一 燒兵 尺義 せきぐ 一ぢうつもうん 好面と云ふ皆不履足故ニハ
云ふ共 爲 さきとすべし 成敗 あるとやあるよ行ふ君人と
もとも 二字共ニ 聖代 ひじり一を燒ちゐ高ぶる 在夏ふ面と きゝ故あり 梅檀 一あら一元
二字共 燒 仏洞 五て 鹿の洞み 三字共ニ 帝 李候 人猶ふ 六ふ
あり ちり代洞わ 三字共ニ の者ふ行ふ寺

洞戸 一洞戸の燒 射 一せくう 発一美 せんぐうもの 一せん 一ある元一
と一ゆくく 宜下 一院宣ホ一 道一まつり 禅 二天ゴ受孫ハ云る
ふ元一 政 道一と一 ちゝ代ふ一ハ行ふ

誓言氏巾 一ちかひ一誓言 善 二字共ニ ちゝ三百去 せびる せめてさい
願寺一 ひろて三敬



鞭撻 尺義 必入偏 剣扎 一ゆて 剣 尺義 焚亡 一ぼて
云迦孫一燒亡 剣 尺義 せぐ 一ぼて
ふ記正 剣 云

さてこの尺義 蚊虫 二秋 涼しき 二字共ニ 納涼 以上三
書 朔 反ちゝ ぬあり さちる ゝ面 と始 ゝ 元 ゝ 元 巻 ゝ 元 ゝ 元 ゝ 元

广 水色こい浅黄乃 硯一硯所の硯に一硯の名れ所名
不知とゝ所の硯は石面と硯
也硯水 於麻 麻乃 麻の古 日西と略く麻共云るとく女麻の名式於麻
麻れ色 於麻 麻乃 麻山於於麻賀 郡のゆく麻山於於麻
とゝ所 於広 於広 綾 まゝく水色とく 炭 人魚と炭 炭
於麻 炭燒 炭竈 炭竈と山於く
一炭燒 炭竈 たくと炭竈 一硯の古 眞とく 扇 張よれもの
二日去分うたんとう 墨とう於 字三百ちく
於て八位て ふ著
於搜 一燒くて 巢 子ゝ古巢 巢 冷 二冷一冷泉
ちう位一 巢 巢郡ちう 院三百遠
篠 於篠 篠 中二乃内ゝ篠 篠 杉 一ゝ杉一杉の筆
居所 居 一篠丸字一菱 篠一篠乃宮
篠 篠 篠 

深袖 由 掛四 斗 二 節 四斗 袋 一 歩 数 二 集 二 数 一 推量 一 押 二 謀 二 押 二 蓮 二 透垣 居 所

則 二 数 一 煤 一 数の字四 鯨

貢 一 独 二 数 一 兼陽一 数 一 数道

袋 一 微 一 数 四 数 二 推量 一 押 二 謀 二 押 二 蓮 二 透垣 居 所

数の字四 鯨

鋤 一 都 陸 四 数 四 数 二 数 一 数 二 数 一 数 二 数 一

○ 假名遣大抵

一中乃えと毒半　中と毒半と中武とをとを

越　清　岡　孤　肥　金　酒

芝　燈　肥　金　酒

一ゐと椅とゐとかるハ　昌字はとをとそれとそれとそれ

一物乃ゑれなやいづまも諸のと成へ
おのと　　参れと　　義れと　　意のくを
一と変変こいづまも諸乃ことを
をしのこ　をしこんそる　とーまする　れれ氏氏
一物乃きいづまも諸のをえ
とこび毛　後のとと　風れとと　とこ氏川　とこる川
ありれ皆とと いづまも奥れれそ　毎ぐうす
一とのき　とのづこ　とのづこ　れれこもそれくのお
一とここ人ーこ氏　女民花こもそ　ありの諸のをえ

一とん平こん諸のをれここここ奥れれこ
一奥乃れ書年　大の字いづまもれくのお変ー
れれここ大変ありまこ　大分　れれこと　尾　れれここ　ち承
れれえ山大広　おりここ　大南　ち承井川　大井川　氏氏いづまもれくの
一尾の字いづまも奥れれるへー
ちのく　屋　山こりれれのちこりお
一御乃字いづまも奥乃れるこ人ー
おりまし　おりめし　ちりくこと　氏氏氏
一諸のくと善年　ちくここ　ちりもどこいづまも諸のく成へー

おりふし　ねがふ　ひと　孔
流ぐふ　ひと　義　はるふ　ひと　遠
ちらふ　ひと　掛　なりふ　ひと　遠
ちふ　ひと　遠　たふ　ひと　倣
いそふ　ひと　祝　となふ　ひと　唱
あふ　ひと　相　うるふ　ひと　叶
とらふ　ひと　赦　ひろふ　ひと　拾
きなふ　ひと　落　えふ　ひと　破
ちふ　ひと　遠　ちぐふ　ひと　隨

むらふ　ひと　剛　いふ　ひと　言
たぐふ　ひと　孔　わふ　ひと　洗
たちふ　ひと　流　ちふ　ひと　讐
ちるふ　ひと　伴　ふるふ　ひと　荷
うふ　ひと　流　さそふ　ひと　誘
るふ　ひと　狂　うやまふ　ひと　敬
ゆるふ　ひと　許　むふ　ひと　向
ゆちふ　ひと　味　ぬふ　ひと　偽
うふ　ひと　占



まふ　ひと　祭　ぬるふ　ひと　濡　きふ　ひと　繋　やすふ　ひと　安
たくみ　ひと　除　ものい
ひきまふ　条　こふ　答　おりまる　支　ふまふ　慈
うるふ　倣　まりる　鮑　あふ　与　ふのふ　調
さふ　栄　う　姦　をり　姦　ちふ　加
世ひおまこ　ひとし　ひふ　ひふ　ふ　ふ　

一與はゝとゝ下れる書事

はゝ　吉　すゝ　末　ゆゝ　豊　いゝ　家

ゝゝ　大悪　ゝゝ　九遠　ゝゝ　九遠　ゝゝ　九遠

たゝくの名かくまりあまこ有まりきうや

一結乃いを下れる書事　此結のいを下れかくゝ

かいのねさめ　ひゝい　らいゝい　たいゝい　おいく　さいく

一巾れるを書事　のまこれかの只一ゝゝゝゝ井れの幾一ゝゝゝ

ゝゝ　なゝゝ　ゝゝ井　うゝゝゝ　ゝゝ

ゝゝ　ゝゝ　まゝゝ　まゝゝ　まゝゝ

よゝ　きゝ　ゝゝ井　ゝゝ井　此ゝゝゝゝ

一ゝゝ字下に書事　下れのゝきゝゝゝゝ

むもれ木　　じまんなて　　むさ屋敷　　むへの風
むめ　　むま　　うゝんもむまで
一さゝめうゝ文字いなみとゝゝ　　蘭をらゝ　　雑炊とゝゝ
丹波と尽ゝ　　芝蘭とゝゝ　　一地たまるいたゝゝと云ゝ
一ゝんだゝいつゝゝゝんと云ゝ
右はかれゝまるゝる　俳名おもゝ　字ゝりわゝもゝ
はゝゝゝいゝ中乃お奥乃ひやをゝおゝりゝ乃おゝゝゝゝる
まゝもゝゝゝりゝゝく考ゝへゝ　唯俳名遣ゝ　一隅
已ゝ　余ハ準ゝゝゝゝゝゝ

誤和式

一　茅唱句之事

茅唱句ゝゝ発句乃事ゝ　茅乃字ゝ　肉乃雷字
を除きて脇乃句ゝ韻字を字ゝゝゝたゝゝゝ

必・有・鄰・花・見

岩句乃鄰の字ハ蕣諄縁乃韵の雷字なり花の
字ハ麻乃韵ゝ雷字なり此二ゝ乃雷字を除きて
何ゝゝ韻ゝゝを脇乃句ゝ韵字を字ゝ但ゝ去
句ゝハ韻字ゝゝ俳諧ゝ於ゝ

あゝて甚かまひなし

㊁ 二四不同之事

●●○○●　毎句二と四とを不同とするなり

●○○●　仄平平仄

此二字ゆ仄字なれと四字め平字にする也

●是ハ平字ゆてゝも仄字なれとも兩韻あるゝも也

前かゝげるゝ

●○○●　此ゝ成とも成ゝ

○○●●

○●○●　此二字めと四字めと同じ様ゝ

○○●●

○○●●　此を嫌ふなり

㊂ 四字一平之事

上句●●●●　此二四不同なれとも四字仄字にて

下句○○○●　平字ハ一字にてあるきなり

但し多逸句ゝ又ハ古語なるをとゝく用ひ得せ

此ゝ四字まゝて一字仄字なり

きるゝ

ある句なれゝ百韻ゝ十所ハ免さるゝ場ゝ

㊃ 避下三連事

上句○○●●●　此二四ゝ不同なれとも仄字三字ゝ下

下句●●○○○　つきあるを下三連とゝて悪ゝ字ゝ

此も下一平字三字ゝ仄字ゝ故あるきゝ

㊄ 平仄起之事

二字めゝを知とゝり

上乃句●○平起○●●是平起ノ時ハ対句ハ仄
ツイ●●仄起●○●○●○起ル事ノ式ノ如ク上乃句
上乃句○●仄起●○●付ル所ノ句ハ仄起ル事也
ツイ●○平起●●○○ノ時対句ハ平起ルノ式
起角上乃句ト下乃句ノ対ハ付ハ起ヲ遠ヘテ近ト下ル
句ト上乃句ノ義ノ付ハ同一起ル事也

六 漢和一座法式之事

面八句乃内漢字句和字句也面ノ内対二所
ノ式ノ義乃義ノ対ノ式ノ如ク不者

漢和乃付ハ面ノ八句ノ和ノ付ハ八句ノ
漢ノ付ハ乃付ハ八句ノ
漢ノ付ハ句ノ付ハ
面八句乃内朱門乃句可禁 朱門乃ノ奥条載之 但
第唱句ハ各別乃多也
百句乃内漢五十句和五十句ノ内ノ多ク漢ノ
も和ノ句も二三句ノ如ク多ク少ノ
花字乃内漢二句和ノ方二句
月和漢ノ句ノ三句五句ノ多ク
雪五ツ漢ノ句ノ五ツ和ノ句ノ

二句あるいは両方へ一句ばくとうく甚だ見苦しく
て出るは和漢ともかたちよ一句ゆるべ
立句玄三句玄乃物はいまと韻字に如まばといと
はうふ色ー　尤物はうふ色うすみえ悪痕の
韻乃条三ーう
通籠番月ー夜
番乃字え悪痕ふてい音バレ訓はうるかさ
ありとく侍なりいさむとよむ時は歌乃韻ふて
音はせえ悪痕韻よりげる故ひて不苦

韻外字は三乃条ふ字ともうーかーば
漢句和句共ー立句まて淡くべー但漢乃句対ふ
至ていは句はぐまてもうーかーば和乃句は五句と
混りとなく
夢想乃漢ふーで付句と漢よきくー七言は文句
ふーで七言は対ふとべー長短ー五言ふてー
ーかーば仏ふ接合は公常は俳諧同ふ也
疊字へ濯字乃一産ふ八句までーかーずなる
同ー面を嫌ふ也上中下と重所をもかべー

假名書ハ一座一ツヽ〳〵第唱句ハ内の平字
漢和乃ハ(ホツク)発端ノ字〳〵ハ脇乃句ハ韻字を除
乃韻を除きて外乃韻字を除
ふく
和漢を和乃句ハ韻字を除ずと雖是を和ハ発句
内乃平字を除きて脇乃句ハ韻字を除くむ漢
乃方ハ韻字ハ除くゆる也
(ハ)静韻ハ(ハ)字俳諧の字也常ハ俳諧ハ下乃句毎ハ韻字を除
ゆるくむ是を発句乃内ハ平字を除きて脇乃句と
完全ハ別義なり

## ⑦ 對句之次第

凡十二門乃内乾坤(ケンコン)と時候(ジコウ)と對ス器財(キザイ)と食服(ショクフク)
とを對ス用ひ態藝(タイゲイ)と虚実(キヨジツ)も一ツハ用ゆ
但態藝乃中ハ軽(カロ)く〳〵して虚実ハ重ル字なり
又虚実乃中ハ強く〳〵して態藝ハ重ル字なり
これを凡合て對すべし
人倫ハ字ハ気形乃中ハ有とのべくを別ハ擇出(エラミ)
用ゆべし　出魚鳥獣等乃生類と人倫とを分ち

對りきゝ
合掌對として悪きあり是い兩乃くきと合あるゆゑに
付ることあるを嫌るりたとへば天地有無寒暖長
短大小善悪めいの乃れなり
或人曰合掌對いいかゆゑに物で真作魚と雲
む蓋て曰たとゑば裏茅唱句ま
棄鱣朱茄
是り合掌對として
増靖青蓼饅

唱句は論語陽貨乃篇り悪紫之奪
朱也とゑ結ま長がりて作ま乃俗ま朱
鱣とゑひて切れ乃赤きあり茄乃色をいて
紫をとゑせゑあ對乃句い鯖を鱈魚こい
乃蓼ゑて饅あくまちうへ書きをま
しあるくちまはゑ乃魚ま魚魚字
と乃ま食類と食類乃梅を合ゑる
ゑびくく対ま乃ゑくゑ又唱句ま合掌對ま
あゑざる對あゑび

曇華草　籠

岩魚より出来たる汁に食物籠に忘れ物
加様なる句なれども句繋にてもぐれども
同よりて作る所に五字八間二字おくれたる
さてさても一句は作法よりきたを本とし次べし　拙き
ぞも一句はくるくべ合掌対といふ雑なるべし

八　俳名書之事

中華は張九成日本乃いろはを書史會要より教
ふる故に性格より用ひまわり対句はなき

たとへば月とつきゆをやはり色とかくまわり
高句はかくのごとし　ゆえや俳諧に用ひざるんや一無
あるべからず　俳名がきの文字はかくに記す

辻堂　白壁　林
ミゐ　と成　助
テン　ヽ　宗　因

辻堂乃白壁林は私なるべし巡礼おくの蕉翁志
ふる句作るわそわは所俳名まて対きしこと
俳諧の一體なり

九 連綿字之事

連綿字ハ冠ヶ篇ヶ作ヶ下ヶ共同ときとりて 鑿だ

乾坤ヲハ

宇宙　廣廡　坻塲　囹圄　豚朧

気形ヲハ

麒麟　鳳凰　蛤蜊　鷲鵞　猿猴

支躰ヲハ

肺脾　鬢髮　髑髏　肝膽　眼膜

態藝ヲハ

齟齬　姉姉　躁躁　躊躇　慇懃　俳徊

生植ヲハ

桔梗　芝蓉　枇杷　菖蒲　蒲萄

食服ヲハ

帀莫　裲襠　裳裳　豐酪　飴饟

器財ヲハ

琴瑟　帷幄　幣帛　柄枋　籧篨

右連綿字ハ連綿字ヶ作りて別シ難ヶ大概ヲとるその類多し

十二物之事

是へ新なる物と二つとせて連續するとゝり譬へ

乾坤 天地 星霜 雨露 山林 陰陽 春秋

気形 犬鶏 龍虎 亀鶴 狐狸 燕鳶

皮革 頭頂 眉目 容顔 心肝 手足

態藝

生還 孤孝 邪正 生植 絹横 得失

松菊 蘭蕙 榛栗 桃李 梅竹

食服 酒茶 澂羅 酒肉 錦繡 有核

煮炙

金銀 甲冑 弓矢 力杖 業功

この外何程も多へ美ふへ大畧を挙ゝ

十三物之事

貪欲　儒釈道　過現来　衆口意
天地人　智仁勇
ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ

十二　底返しのゆう

底返りといふは下を表にして上を返すなり
ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ

贈古　勤学　蒲池　納涼　無心　宥経

ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ

字なりて対とす　対句訓して付るなり
又唱句返りてよみ　底返して対とす

可くして字は類のまことなり　門ゆうれ三と郭家のゆう

十三　朱門之事

朱門とは人の名書物の名等　号官位
ゆうれ也人の名なり　人は名所の名へ国のゆうれ
くま対とす　平仄とあり　ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ　拘
ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ　ゆうれ
山谷　ゆうれ　東城　ゆうれ　三字なる　乾坤門のゆうれ
思主とあるは赤人　ゆうれ　黒とあるは光彩門の字主
と人とは気形門の字　ゆうれ　紅　ひ上不対なり

子路ら顔淵ハ源と関しい乾坤門の字ハて対と
ものハ三形門顔ハ支離門ハて山二字対を源と
こと朱ハ対する故対とする時ハ頼朝ら顔も
是ハて初ハ但唐人乃名と日本人ハ名と対と
ハ源或ハ谷ハ道風ハ字ハ乾坤門ハて字ハ誌
対とする谷ハ唐人道風ハ日本人なれば乃
顔男ハ対ハ顔男ハ対ハ名所年号等ハ同前
所乃名ハハ上野ハ近江松浦ハ篠原ハ字
対して上野ハ文難ハ高雄三室ハ八幡なども

字ハ対せざれども朱門故対ハ字ハ源

朱門狂哥

右所中ハ文ハたとえ官乃朱門とかるて考へ
二門中乃朱門ハ物の年九二門ハ年年とも

(歯)文字用ハ梅乃歯

譬へハ香乃字かハて生植ハ
多香是ハ用ハ対ハ是ハ芳ハ字か
うえとよむ対ハ虚押ハて植と音う
用ハ花乃ありて生植ハ枯かる

とらむるわく虚押おをなる也音ゟ用ゑ付ハ生
植ゟなる哉 蕪乃字ハ類も同ゑ國音ゟ
用ゆるこうゐひんゟて乾坤おもなる閑 寂
幽乃字ゟ也ゟ多り 詩乃字詩を作ゑ名れ之詩
字なり 詩文詩書乃字ゟ用ひて八巻紙おも
文書章乃字も同意く桐世字きりとゟみてを
生植なりむゟ文てい巻戦ゟり 桔の字も
同ゑ琴ゟなる之狂出類乃字ゟ戦と
乾坤と気形と通用乃字

月 月 星 虹 霓 雷
乾坤と烈戦通用乃字
軒 扉 門 戸 榜 瓦 甍 桴 碑 牀 石
庇 崖 猶 棚
乾坤と支幹と通用の字
趾 牙 氣 夢 角
乾坤と文彩通用ハ字
日 月 星 電 露 煙 煤
乾坤と態藝と通用乃字

夢中封君處　虛空渡泥堆載

代遠近上下内外前後表裏

乾坤と生植と通用

林　菀森節

氣形と態藝と通用

雄　漁樵牧

氣形と文辞と通用

羽　翼鱗翰角毛

氣形と色彩と通用

日　月星烏黑心免白心鴉日上螢

氣形と黒財と通用

貝　蠙蝸

氣形と人倫と通用

雄　漁鰥獨孤

人倫と態藝と通用

賢　愚樵漁盜賊侊將衰老若

自　佗雄勇侶

文辞と態藝と通用

聾 聵 情 智 瘡 病 盲 瘖

生植と素財と通用

架 茶 苔 香 瓢 藥 栄 薪

生植と光彩と通用

紅 翠 緑 紫

素財と態藝と通用

権 緑 彩 飾 詩 文 章 歌 謌

素材と光彩とかめる字

丹 朱 金 銀 墨 玉 碧 粉 錦 黛 畫

白 薄 泥

光彩と態藝兼ル字

清 淡 濃 濁 漆 然 薄 泥

数量と態藝と通用

重 皆 分 長 短 多 少 細 同 諸 教

幾 雙

右数代文字粉貫〈一是対句ニ法ヒ有る時可ル用ニ

(五) 假名書乃文字并ニ

月と都嚼々 秋計 雲と柄岡 風と加前 西と下采

霜と詩浦　雪と攸計　夜と搖落　露と名利　山と夜漫
水と明東　珠と黴　筆と分直　墨と蘇弥　絹と法可
硯と松蘇剎　頭を加羅雄　手と提　酒をば嬉　杉と杰計
杖と埕止　酒盞を胒加藤計　強盗を太宿鬼隨
此類乃かなかき不可勝計一ツ
(玉)漢之句四季文字事

春

暖芳　そをのかんばしき　玄紅　同上　數気　あやしき気　燒痕　ものやけのあと
踏青　ふみあをふ　ひろくり　芳草　かぐはしき草　晴系乱　はれて天に系ぬけるあり

如笑　ものをかしき笑ひ　山如黛　同上
晴嘶　玄乃晴るに　ものをいふと云　寫雨　ものをかしき雨　花梨雪　花の如き雪　寫梭乃
杏村酒　酒を杏村りへ　ひとりと植る　花信風　そのの開むとはる風　寫梭乃
仰の杖よりのるさくのること　禽囀　ものの鳥の囀　春張玄乃
布をはるかさにやらるく　花脈足　脈気にわかれ　護山鳥　山の花を護る鳥
日乃雪玄のと　ねるをいつく
けてそれ形ときを
花有物　花はよくそこと送へて　肅気　玄乃あさしう　桃酔乃
そこのそこへ乃酒　利雪　ものの雪　梨雲　白雲　紅意
ものをいふ　雪ものをいふ　緑情　紅意は花のいろ　緑情　梅小字　むめ　ちいさ字　小乃字
赤花の後の新緑の情く

梅花暦　年に限りなしそこの国の四時めぐり
杉苔の間をこそとそを暦とみたる
春一番　春の早く立ぬる
麦秋　麦の穂やうるる

春已扨　春未
餞春　春の名ぬ
寓餞　日こん

○夏

清和　三月八日の夏の名
緑陰　夏
十三紅　ざんの間に
森　五月雨
蕉書笠
梅雨類国

迎梅雨　四月の夏
梅天　四五月
緑勝花　みどりの
荷敬牛蓋
花冨貴　花の
山如滴　山の
新涼　の
紫絲繞　二月二日

○秋

荷雨　夏の中比
暑　夏の
炎塵　夏の
炎埃張　夏の
風解慍　夏の
南薫　南より
駆暑　馬を
早霖　夏の
涼書　夏の
暑埃塵　同上
暑如醉
炎雲合　夏の
秋近期　夏の

初涼　秋の
新涼　秋の
搬暑　暑を
金気　秋の
黄雀風　暑を
秋の李　
桔翻葉　
桔雨　

金雨 秋の雨なり 無語 秋風のうらみを人の語るごとく

桐涼 梧桐の葉のきれのうらみ

素景 秋の糸をうつす秋の白こがね

疎柳 秋風の柳まばらなる 柳ぶかの乃かさとる

楓錦 もみぢの錦

紅樹 同上

黄落雨 木の葉の音の雨なるごとく

山容瘦 草木の枯るる山の

かさちゼ 雁雲 雁の形あるごとく

寒砧 うそさむきに冷秋なり

○冬

柑菜 冬なり

凍蝶 さしもの時とだえ蝶

凍鶴 こおりて鶴

燒葉 冬枯の燒

所業 冬なりて所業なきを

凍雲 冬天乃雲なり

弓月 冬き月乃弓乃

ふくかぜ

有臘 冬なる月をいう

敲凍硯 硯乃凍るごとく

短景 冬乃日

獸炭 冬乃炭

釣雪 敲雪寺

探毒 冬の毒

驚霜左 年ぶりよりわ

左よりおそく

臘 冬なり

春信 春の信

歳暮 除の事ノ成

守歳 大晦日乃夜とり火を

○雜

雲龍衣 あひたるごとく雲なり

金石友 かなづちのごとく男

変せぬ友なり

詩肺 詩人の肺なり

遊仙枕 仙人の枕

雲似蓋 雲乃ごとくかさなる

竹樓 竹乃樓

紅旭　名日ありり　紅衣　酒乃名　紅女　物を織女を紅乃字い赤筋ま
山開蚤　山のふ〜〜ようなりきだ　エとう字をかくるあと書へ
鈔深　書をうゝそ〜つゝき　黒胡蝶　もるゝの　蜘室窟　くろうめ
〜〜ゆめく　義堅を川出さとく
〜〜ゆめく　彝如雪　人のよう〜　義堅の心雪
き家く　風ふきまゝ　湖似鏡　水海の面晴て
かゝみよ似たる
耿熱乃　舟哥　火底　さまし火の　窓　旅ゆゝ　一葉分　舟あり
帰　栗　泊　め氏の家　錦字意　御講業意　私詐義意
加ハ　ゆゝ　ハ　ゆゝ　ハ　ゆゝ
珊姫祭　思ひ業ちゆゝ　吾多て　名利　浮跡　出戸　幽所　名類
秋乃扇ふたゝ〜〜　本懐
禅定　錫　釈意　○右ゝ類不許陽平　他準之

大尾

# 跋

講只行亭ゝゝ女人筆まあに云あゝめ意あを
清書ふゝくを〜〜まゝとゝゝ名よめゝくてゝゝ
かへ〜ゝゝるゝゝ達乃授さ〜あゝ数量手お
於紫乃ふゝ〜〜いさゝゝ口伽ゝゝまゝ今出
俳風ゝゝ自ゝゝそ〜〜ゝ教ゝゝ〜ゝゝ
ゝゝ〜〜ゝ私ゝゝゝゝ人ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

祖父乃かきまれの出とゝんも物らう〜きす
此一帖のうくなるまゝとあるゝらめん事よ代
ゝまけありとうあきくうに亀をそふ物あり

露吹房
和及

元禄十年丁丑孟春穀旦

新井彌兵衛

改板をゝまた紀之跋

誹式之祖宗秋長頭翁之嫡門良徳之末
良保孫之ゝ正統和傳〜〜常非ゝの
和及竹亭面師は厚年〜〜ゝ予よ
亀林と若法等ら弟〜〜もはるあ
世十ゝ勢ちのきゝ〜〜これをゝきの
ゝ国を兼くゝ式書唐廣義〜て
四変改刻〜〜新井氏の家よ世
八世て世ゝ久〜〜きも若八亡ひさる

の道ゆ〳〵ふ[illegible]
知れぬ迹そ[illegible]るもなしや

嘉永五橋　石壽庵　蕃書

安永十年辛丑正月
京東高瀬正面上ル町
書林　俵屋清兵衛

京都書林　横田耕價堂蔵板目録　東高瀬正面上ル町　俵屋清兵衛

四書集註　道春点　十一
同　京極版　十一
名物六帖　東涯先生著　十六
人事箋　器財箋　人品箋　出來
續編追〻出來
古文後集　行カ十分　二
唐詩財　二
呂氏春秋
雑字類篇　栄良穀　二
孝語篇　大典禪師　二
倭節用集悉皆囊　人全
俗語通尚補　手塚壽縣主図
節用安ホタ[illegible]
仮名ヲ以テ諸字ヲ加ル日用事宜ヲ
分類シテ[illegible]
増字百倍増加節用集　[illegible]
[illegible]

字彙節用悉皆蔵　全
此集は四職の人々肝要の文字を拾ひ俱字を出し　まことをもく下ニ言の所を教へ
ちかい手ぶり重宝のものとあらうう

新選早字引　小本　全
けいこの引は毎日あるべきことなれども其うちて一字
の書ようを引あること人名字名の名所

新明暦雜書天文臺　全
けいこ世相大々みな人名一代の吉凶月々日々
の善悪其外の吉凶一切吉凶この書ふ
りうく古文なり

山州名跡志　廿一

山城名勝志　図十枚箱入　廿二

都名所圖會　秋里籬島　六
拾遺都名所圖會　全　九
此書は京都　禁裏の御あらう洛
洛外名所古跡社寺名山水花月賢都の
宅舎おのおのそれぞれ図ホ
と称し名家の詩歌を挙げ京師の名
所を考ふ式書ふまれたるなり

花洛細見圖　折本　十五

都寺社全圖　同　四

繪本都のあらあ　二

同　京名所記　全

祇園清水名所　全

寺社物語　六

都名所車　懐中　小本　全

都細見圖　折本　全

京都案内引外　小本　全

繪本倭比事　西川祐信　十

山水畫典　三

画圖黒手　三

麁筆画譜　三

丹青錦嚢　六

謡訓蒙図會　中村三近子　横宇国貞　十

親鸞大人御旧跡二十四輩順拝圖會　五
同　後編　五
此書は大北丘ケ年の間小国を遍歴し
なまじい北ケ京れ御旧跡の縁起なりひ
伝来化のふしぎなものの名所古跡七百
のたくひこまかくしるし宗門の人
はいりとう後文人一段なるものなり

北国陸奥行記　小本　全

同　帆掛記　同　全

同　繪巻　折本　全

同　名中記　全

源平盛衰記図會 巻第壱 六


誹諧おくのほそ道 行亭 二
同 於遺跡 文石発句入 全
同 曉山集
同 流偕いとあさ大成
同 郭元文成
同 きく盃
狂歌俳諧
心學書目
貴ト先生據倚 一
同 後篇 二
同 續篇 名 二
同 妻子伝受 三
かるめくさ 二
うり叶ぢる 二
みくのふつち 二
松翁ものがたり 一
卯代の出 一
梅育州 二
業ふくさ 二
身体拉立 二
民の教昌 八
孝經童子訓 一
鬼ハ外 一
金のりうの弁慶 二
ふるうり哥 一
夜話荘子 二
冥運出世の変 二
吐ろくさ 一
家内安全の伝受 一
子夫のまな 二
まのあさと 二
安楽問道 一